資料４－２

平成２０年度北海道ＰＣＢ廃棄物処理施設総合防災訓練の実施結果について

１．実施日時　　平成２０年１０月２２日（水）１０時００分～１１時２０分（天候：晴れ）

２．場　所　　北海道ＰＣＢ廃棄物処理施設　処理棟

３．参加人員・装備

公設消防隊：隊員　　：　２７名
　　　　　　車両　　：　８台（消防車6、救急車1、機材運搬用トラック1）
　　　　　　除染テント：　1張
　　　　　　化学防護服：　6着
ＪＥＳＣＯ　　：　２６名
ＭＥＰＳ　　　：　８５名

４．訓練の目的

今回の訓練は、日本環境安全事業(株)（ＪＥＳＣＯ）北海道事業所が5月２１日操業開始して以降、初めての総合防災訓練である。ＪＥＳＣＯと運転会社の室蘭環境プラントサービス(株)（ＭＥＰＳ）及び室蘭市消防本部との連携のもと、火災発生時の現場での基本行動、役割分担、防災組織活動、関係機関との連携等、総合的な防災活動が確実に実施できることを確認することを主眼とした。

５．訓練結果の概要

今回の訓練は、大型／車載トランス解体エリア（管理レベル3）の加熱装置からの火災による緊急異常事態の発生をベースとして、大型／車載トランス解体エリアの作業スペース（管理レベル2）で避難中の作業員１名が転倒して負傷し自衛防災隊が救助、また、小型トランス解体エリア（管理レベル3）でも避難中の作業員1名が転倒して負傷、さらに防護服が破損したためＰＣＢ汚染のおそれがあることから公設消防が救助し除染する、という想定で行った。

その結果、予定していた訓練項目である

(1) 火災発生時の通報・自衛防災隊設置訓練
(2) 初期消火・避難訓練
(3) 粉末消火設備起動・負傷者救助訓練
(4) 各関係機関への通報・連絡訓練

をＪＥＳＣＯ、ＭＥＰＳ及び室蘭市消防本部の連携の下、滞りなく消化し、総合的な防災活動が確実に実施できることを確認できた。

６．訓練目安時刻及び実績時刻（【 】内は建屋内のイベント）

１．訓練開始宣言	１０：００（実績１０：００）
２．【大型トランス加熱装置から火災発生模擬。火災警報作動】	１０：０１（実績１０：０１）
３．【出火場所確認】	１０：０２（実績１０：０２）
４．【火災発生通報】	１０：０３（実績１０：０４）
５．【初期消火実施】	１０：０４（実績１０：０４）
６．火災発生、避難準備、自衛防災隊設置の全館放送	１０：０５（実績１０：０７）
７．自衛防災隊設置	１０：０７（実績１０：１１）
８．初期消火報告、負傷者１救助要請（自衛防災隊）	１０：０８（実績１０：１４）
９．粉末消火設備起動準備放送	１０：１１（実績１０：１６）
１０．【粉末消火設備起動】	１０：１１（実績１０：１８）
１１．粉末消火結果報告	１０：１１（実績１０：１９）
１２．負傷者１（汚染なし）救助。救急車要請	１０：１６（実績１０：２４）
１３．全員避難放送	１０：１７（実績１０：２５）
１４．負傷者２（汚染あり）救助を公設消防に要請	１０：１９（実績１０：２９）
１５．避難完了報告	１０：２０（実績１０：３１）
１６．公設消防隊到着	１０：２２（実績１０：３３）
１７．対策本部長から消防署長へ状況報告、指揮権委譲	１０：２６（実績１０：３５）
１８．負傷者１を救急車により搬送	１０：２６（実績１０：３６）
１９．消防署長より各隊に活動指示（消火、救出、除染）	１０：２７（実績１０：３７）
２０．対外報告第１報	１０：３０（実績１０：４０）
２１．除染テント立ち上げ	１０：３１（実績１０：４２）
２２．負傷者２救出・除染活動	１０：４２（実績１０：５５）
２３．消火開始	１０：４５（実績１０：５５）
２４．負傷者２を救急車により搬送	１０：４７（実績１１：００）
２５．【鎮火確認】	１０：４９（実績１１：００）
２６．指揮権返還	１０：５４（実績１１：０３）
２７．対外報告第２報	１０：５９（実績１１：０４）
２８．想定終了、自衛防災隊解散	１１：００（実績１１：０８）
２９．ご講評	１１：０２（実績１１：１０）
北海道胆振支庁地域振興部環境生活課主幹	大林　純一　様
室蘭市生活環境部リサイクル清掃課主幹	設楽　正弘　様
室蘭市消防長	佐藤　武雄　様
３０．謝辞	１１：２０（実績１１：１７）
日本環境安全事業株式会社北海道事業所長	油井　理
３１．訓練終了宣言	１１：３０（実績１１：２０）

・下線付きは訓練状況写真あり

７．反省事項

(1) JESCO

① （訓練前）テントや放送設備は開始 30 分前には完了しておくこと。また、通報連絡先には事前に訓練参加の依頼を確実に伝えておくこと。

② （訓練中）各本部長クラス及び記録係以外の防災隊員の動きがないように感じられた。次回以降は何らかの役割を持たせること。

③ （訓練中）対策本部から現場の動きがわかるように、各隊にトランシーバーを持たせ、情報共有を図ること。

(2) MEPS

① （訓練中）救護隊の搬送状況は、自衛消防隊長に逐次連絡すること。

② （訓練後）2年続けて同じ設定で実施したので、来年は違う設定でやった方が良いこと。例えば大地震や大規模停電を想定した訓練。但し、人命救助や汚染防止などについては来年以降も実施すること。

(3) 講評における要望事項等

【胆振支庁】オンラインモニタリングの値に異常がないことを現場から報告されていたが、関係機関に通報するときに欠落していた。緊急異常事態においては、施設の稼働状況とモニタリング状況が行政として最も知りたい情報なので、今後はこの2点を確実に連絡してほしい。

(4) 反省会で抽出された意見・要望等

① （訓練内容）総合防災訓練以外の自衛消防訓練を実施する際には、より実際に即した訓練とすること。

② （準備状況）今年の訓練の準備は、9月に入ってから本格的に実施したため、十分な準備時間が取れなかった。また、関係者が一同に会する打合せ回数も少なかった。来年は、少なくとも3ヶ月前から準備し、関係者間での検討を綿密に行うこと。

以　上

対策本部

日本環境安全事業株式会社

MEPS

放
送